

修了評価の方法

評価基準作成者： 平座 佳彦

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。2 出題形式 五肢択一〇×問題及び穴埋め問題形式とする。3 出題数<ul style="list-style-type: none">・ 五肢択一〇×29 問題 (配点 1 問 5 点)、・ 穴埋め問題 3 問 (配点 1 問 5 点)全問 32 問 全問正解：160 満点4 合否判定基準 96 点以上 (6 割以上)5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・ 結果発表後、直ちに 1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 6 割以上とする。 補習料：1 時間あたり 1,500 円 再評価料 1,500 円・ 再試験を最大 2 回まで実施する。 なお、再試験 (再評価) の結果後、不合格となったものについては、未終了の取り扱いなるため注意すること。
------------	--